

令和4年度 第1回 外国人防災リーダー養成講座



～外国人市民会議×災害時通訳ボランティア～



- 日時 2022年8月6日(土) 午前10時00分～午前12時00分
- 場所 豊橋市役所 西館4階 災害対策本部室
- 概要 「災害が起こった時に地域で出来ること」をテーマに、防災についての話を聞いたり、意見交換を行ったりしました。意見交換では、避難図上訓練ゲームを通して、災害が起こった際に考えられる問題の解決策について話し合いました。講座の最後には、VRを使った災害体験をし、希望者は地震の揺れを体験できる起震車に乗り、震度7の揺れを体感しました。
- 参加者 豊橋市外国人市民会議委員(3名) 災害通訳ボランティアほか(*) (7名)
豊橋市国際交流協会 豊橋市(多文化共生・国際課、防災危機管理課)

(*) 災害が起こった際に言葉の面で外国人市民をサポートする、豊橋市国際交流協会登録のボランティア

時間	内容
10:00	新規委員の紹介
10:10	防災についての話を聞く(市・防災危機管理課) 「災害が起こった時に地域で出来ることを学ぶ」
10:40	意見交換会 ・避難図上訓練ゲーム(HUG)
11:05	外国人向けVR体験
11:45	起震車による地震体験
12:00	終了



●意見交換

意見交換では、A・Bグループにわかれ、避難図上訓練ゲームを行いました。



ゲームの内容は、避難場所に指定された建物の地図を使いながら、災害時に起こりうる問題の解決策を考
えるというもので、受講者は、自治会長や役員になりきり、グループメンバーで意見を出し合いながら9
つの問題に取り組みました。



あなたなら、どうする？

近所のスーパーから、250人分のお弁当をもらいました。

避難者は400人。在宅避難者は600人。

配る？ 配らない？ 誰に配る？ 順番？ 半分？



●VR体験・起震車体験

VRとは、「Virtual Reality」の略称で、専用のゴーグルを付けて仮想空間を体験できる機械のことです。

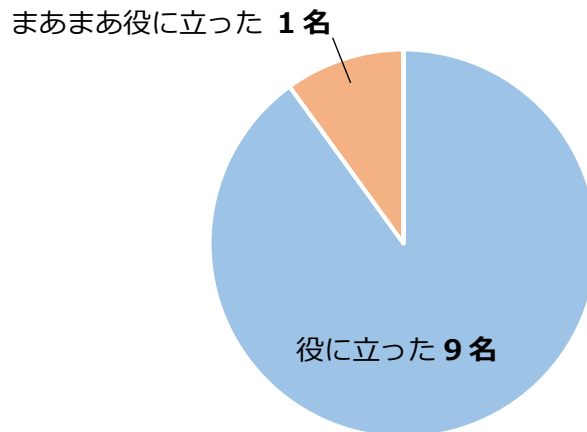
今回の講座では、災害時の避難が体験できる内容で、選択肢によって展開が変わるため、参加者はそれぞ
れの選択によって、異なるケースを体験していました。また、市民広場では地震の揺れを体験できる起震
車が用意され、希望者は東日本大震災と同じ震度7の揺れを体験しました。



●アンケート結果

講座終了後に、受講者に向けてアンケートを実施しました。（アンケート提出者 10 名）

1. 今日の講座は役に立ちましたか？



2. 今日の講座を聞いて、新しく気付いたこと、発見したことはなんですか。

- ・人助けに国籍は関係ないということ
- ・解決策を考えるためには、どのような状況が発生するのかを知っておくことが大切
- ・VR 体験をして、避難に遅れるとどうなってしまうかがわかった

3. 防災について、もっと知りたいこと、勉強したいことはなんですか。

- ・ハザードマップについてもっと知りたい
- ・実際に避難所で訓練をうけてみたい
- ・地震が発生するとき、どこに避難するのかについて

4. その他、何か伝えたいことがあれば自由に記入してください。

- ・災害の言葉は、外国人にとってまだまだ難しいので、もっとやさしい日本語での表記が必要
- ・とてもよい講座なので、もっと規模を広げてほしい
- ・通訳ができてでも防災について分からない住民が多いと思うので、養成講座の活動をもっと広めたい

以上